

JIM-NET 便り

2026 9月号

発行：2026年9月30日

特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4丁目4番11号 内藤ビル2C

電話 03-6228-0746 メール info-jim@jim-net.net



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

بسم الله الرحمن الرحيم
بمباركة الله وبركاته
تاريخ: ٢٠٢٦ / ٩ / ١٥
محرر: د. هادي



目次

アルビル - バスラ - バグダード 陸路で 1,768km の出張報告 (リーム・アッバス/ラワンド・ギャラリー)	P2
ジン病院への医薬品支援報告 (Dr. ヒワ・ザラル・ジャフ)	P4
「日本の平和は、障子の和紙のように薄い」 (広報チーム)	P6
書籍紹介「十六歳 - 父が残したいのちの手記」 (斉藤とも子)	P8
Coffee for Peace ! 第 6 弾 / 『チョコ募金』 11 月から受付スタート / 夏募金報告	P8



アルビル-バグダード-バスラ 陸路で1,768kmの出張報告

リーム・アッバス／ラウンド・ギャラリー（アルビル事務所）

イラン戦争下、リームとラウンドが、バグダードとバスラの病院内にある各事務所を訪ねました。



◆バグダード事務所

バグダード事務所では、現地スタッフのラナが、長年にわたり病院で子どもたちとその家族を支援する活動を行っています。ラナは、単なる JIM-NET のスタッフというだけでなく、子どもたちにとって、信頼できる友だちであり、母のような温かい存在でもあり、心の支えとなっています。彼女は、常に子どもたちの気持ちやニーズに気を配り、最善を尽くしています。

ラナの存在が安心感を与えてくれるため、子どもが診療を受けたり、手術やその他の重要な医療処置を受ける必要がある際に、家族がラナに連絡を取り、子どもと一緒にいてほしいと頼むこともあります。また、子どもがラナに会いたいという理由だけで、病院に来ることもあります。ラナの献身的な支援と思いやりによって、彼女は多くの子どもたちやその家族にとってかけがえのない存在となっています。

◆バスラ事務所

バスラ事務所を訪問した際、ちょうど休暇期間中だったため、病院にいた子どもたちの人数は比較的少なかったのですが、プレイルームを利用して楽しそうに過ごしている子どもたちの様子を観察することができました。その日、病院にいた子どもたちは、絵を描いたり、積み木で遊んだり、プレイルームでの活動を楽しんでいました。プレイルームは、治療から離れてリラックスし、遊びながら楽しい時間を過ごす、子どもたちの大切な場となっています。

訪問中、私たちは今後プレイルームで、入院中の子どもたちの創造力、思考力、学習意欲、そして交流を促すなどのアクティビティを提供するためには、どうしたら良いかをスタッフのイーマンと話し合い、必要と考えられる教育・知育ゲームや、子どもたちに適した教材などの手配をしました。これらのゲームや教材がプレイルームをより楽しい場所にし、子どもたちがそこで過ごす時間に有意義な活動をもたらすことを願っています。



バスラのプレイルーム



バスラのプレイルームで新しいおもちゃを飾り付ける

◆イラク国内二か所の事務所を訪問して

バグダードとバスラの各事務所を訪問したことで、JIM-NETのスタッフたちの献身的な姿勢や、子どもたちやその家族と築き上げてきた良好な関係を実感できる貴重な機会を得ることができました。

今回、アルビルからバグダードとバスラを移動する中で、いくつかの違いや変化にも気づきました。訪問期間中、バグダードとバスラの両都市の通りは比較的閑散としており、交通量も人通りも普段よりはるかに少なかったのです。これは主に、イスラーム暦のムハッラム月およびアルバイーンの期間という宗教的な時期と関係していたためです。この時期、多くの人々、特にイスラーム教シーア派の信徒たちが、宗教行事や追悼式に参加するためにバグダードから南に下った所にあるカルバラへと向かうためです。

天候も厳しく、気温は極めて高く、特にバスラでは高い湿度が相まって、暑さがさらに厳しく感じられました。時折、酷暑と高湿度が重なり、呼吸することさえ困難に感じられるほどでした。

前回の訪問時と比べて物価が大幅に上昇していたことも大きな変化でした。日用品やサービスの価格は、かなり高くなっているように見受けられました。私たちが話を聞いた人々の中には、この価格上昇の一因として、イスラエルとアメリカによるイランへの軍事攻撃の影響や、より広範な経済情勢を挙げる人もいましたが、価格上昇の正確な原因については確認することはできませんでした。

また、移動中に車のガソリンの仕入れ状況や価格に著しい差があることも分かりました。クルディスタン地域を



話し合うラナ（左）とリーム

出てキルクークを通過した後、ルート沿いで燃料不足が目立つようになりました。しかし、バグダードではガソリンが1リットルあたり約450イラク・ディナール（1イラク・ディナールは約0.12円、450イラク・ディナールは約54円）で入手できたのに対し、アルビルでは通常の低品質ガソリンが1リットルあたり約1,800～1,900イラク・ディナール（約222円～228円）で、高品質ガソリンはさらに高価で、1リットルあたり約2,500～2,600イラク・ディナール（約300円～312円）に達していました。アルビルとバグダードの燃料価格の顕著な差は、今回の旅で私たちが観察した中でも最も明白なものの一つでした。

今回の出張で、バグダードとバスラの両事務所を訪問し、子どもたちとその家族を支援するスタッフと面会するという今回の旅の主な目的に加え、訪問した地域の現在の経済的・社会的状況について、より幅広い理解を得ることができました。

支援者の皆様の絶え間ないご支援のお陰で、このような活動が可能となり、子どもたちが最も支援を必要としている時に、子どもたちやその家族に寄り添い続けることができいております。改めて深く感謝申し上げます。



バスラのプレイルームを整える



ドホーク県ジン病院への医薬品支援を行いました。

Dr.ヒワ・ザラル・ジャフ（アルビル事務所）

JIM-NET では約 2 年前からクルド自治区のドホーク県ジン病院に継続的に支援をしています。ドホーク県はクルド自治区の最北端の県で JIM-NET ハウスのあるアルビルから北西に車で 2 ～ 3 時間移動した場所にあります。ジン病院への訪問の際、病院長のハサン医師から、同病院に影響を及ぼしているいくつかの深刻な医薬品不足について報告を受けました。その中には、必須医薬品、検査キット、消耗品の不足に加え、医療スタッフに対するさらなる専門的研修の必要性も含まれていました。さらにハサン医師は同じクルド自治区のアルビルやスレイマニヤのがんセンターと比べ、ドホークのがん治療への注目度が低く、外部からの支援が少ない現状を訴えていました。

同病院では、重篤かつ慢性的な疾患を抱える小児を対象に、外来・入院診療、診察、臨床検査、および専門的な治療を行っています。この施設の重要性は、「ジン小児腫瘍・血液疾患センター」でサラセミア（地中海貧血）の治療を受けている小児の治療実績にも反映されて



Dr. ヒワ (左) とバルザン

います。

2 年前、ジン病院の患者子ども 2 名が骨髄移植を受けるためイタリアに渡航しなければいけませんでした。イラクのクルド自治区内において、骨髄移植ができる病院は 1 ケ所しかなく、骨髄移植を受ける必要のある子どもたち



Dr. ヒワと患者の子ども



の多くが海外で手術を受けなくてはなりません。JIM-NETでは、2024年度に子どもたちに同行した医師2名の渡航にかかる関連費用を支援しました。その目的は、治療中の子どもたちを支援するとともに、骨髄移植の全過程を実地で研修してもらうことでした。医師たちは治療の開始から完了に至るまでのプロセスを学びました。この経験はとても貴重で実践的な研修となり、将来的にドホーク県でも骨髄移植サービスを確立するためのジン病院の長期的な計画を後押ししました。この支援は、現地の医療専門知識と将来の専門医療サービスの開発に向けた支援でもありました。

2026年8月、JIM-NETはジン病院に対して、5,000USドル相当の医薬品支援を行いました。不足している必須医薬品、特にがん治療を受けている小児の重篤な感染症の管理に必要な抗生物質を中心に提供しました。病院側の説明によると、これらの医薬品は、約2ヶ月間にわたり約150人の小児の治療を支えることが期待されているそうです。主な受益者はがんおよびサラセミア（地中海貧血）の治療を受けている小児です。小児がんの治療現場において、医薬品の不足は特に深刻な問題です。化学療法を受けている子どもたちは、免疫機能が著しく低下し、重篤な感染症にかかりやすくなります。感染症が発症した場合、症状は急速に進行し、命に関わる事態となる可能性があるため、適切な治療を迅速に受けられることが



不可欠です。

本プロジェクトを通じて支援される抗生物質は、個々の患者の臨床状態に応じて、重篤な細菌感染症の治療に用いられる重要な医薬品です。これら抗生物質があることで、迅速に感染症の治療ができます。また、抗がん剤治療では、副作用で胃のトラブルが起こりやすいため、胃痛や胃酸を抑える薬も支援リストに含まれています。がん治療を受けている子どもたちにとって、適切な医薬品へのアクセスを維持することは特に重要です。

今回の5,000USドルのご寄付により、重篤な感染症や治療に伴う合併症の管理に活用できる必須医薬品の提供が可能となりました。今後、ジン病院で骨髄移植ができるようになるには、必須医薬品や抗生物質、検査キットや消耗品、医療スタッフの研修、専門的な小児がん医療サービスの整備など、様々な課題が山積していますが、これからも温かく見守っていただけますと幸いです。日本からのご支援に心から感謝申し上げます。



支援した医薬品





「日本の平和は、 障子の和紙のように薄い」

——ピースフェスで考えた、世界の戦争と私たちの暮らし

広報チーム

7月4日、「平和カンパ」を広め、平和について学びを深めるパルシステム東京の「ピースフェス」が開催され、JIM-NETもブースを出展しました。基調講演には、俳優・表現者のサヘル・ローズさんと、ウクライナからの留学生トロプチン・ニキタさんが登壇。3月のJIM-NETギャラリー展でのお二人のクロストークに参加されたパルシステム東京の皆さんが、「ぜひ組合員の皆さんにもお二人のお話を届けたい」と企画してくださった第二弾です。今回もJIM-NETの崔がファシリテーターを務めました。

ピースフェスの前日に、来日してちょうど4年を迎えた21歳のニキタさん。「ウクライナ人というアイデンティティを保ちながら、どう日本の文化に合わせるかという日々でした」と振り返りました。一方、イラン・イラク戦争で孤児となり、8歳で養母とともに来日したサヘルさんは、18歳で家族と離れ、一人で日本にやってきたニキタさんに思いを寄せ、「不安の中で過ごしたニキタさんの思いを、改めて考えたい」と語りました。

サヘルさんからは、こんな問題提起もありました。「私たちは地球という、このひとつの星で生活しています。

ひとつの場所で荒れ始めれば、私たちの日常にも必ず影響を与えます」「コーヒーやチョコレート、スマートフォンに使われる資源も世界のどこかからやってくる。関係のない社会なんて、ひとつもないんです」と。

戦場の光ファイバーで、 鳥たちが巣をつくる



崔からは、昨夏にJIM-NETが開催した、ウクライナで取材を続けるジャーナリスト・玉本英子さんの報告会で伺ったお話を紹介しました。ウクライナの最前線では、電波妨害を避けるため、光ファイバーケーブルを用いた有線ドローンが使われています。そして戦場に残された無数の光ファイバーを鳥たちがぐわえ、巣作りに使っているということです。会場では、玉本さんからお借りしたドローンの模型と、光ファイバーでつくられた鳥の巣の写真もお見せいたしました。人間が引き起こした戦争が、自然界の営みにまで痕跡を残している——。その事実、参加者の皆さんも驚かれた様子でした。

また、イラクで起きていることについても伝えました。2月28日のアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃後、米軍基地や関連施設に向けた攻撃が続き、ドローンによる攻撃は民間地域にも及びました。上空を飛ぶドローンやミサイルの音に恐怖し、音に敏感になってしまったJIM-NETスタッフの9歳の娘・サービーンが家族に口にした言葉も紹介しました。「どうせドローンが落ちるなら、今、家族がいるこの場で、家の中にみんながいる時に落ちてほしい。一瞬で殺してほしい!」

戦争とは、ニュースの中の軍隊や兵器だけの話では



ブースでの様子



参加者の皆さまと。



サヘルさん、ニキタさんとのトーク



JIM-NETの活動紹介

ありません。その下には一人ひとりの生活があり、家族がいて、子どもたちの日常があります。ある日突然始められた戦争によって、普通の人たちの、普通の暮らしが奪われてしまう…。そのことを改めて突きつけられました。

「日本の平和は、障子の和紙のように薄い」



ニキタさんは、平和と私たち一人ひとりの責任についても語りました。「国民が無関心になれば、権力者は好き放題に戦争を進めてしまいます。日本はこれだけ言葉の自由があるということが貴重なもので、それが平和を守る第一線だと思います」そして、日本で学んだこととして「相手を思うこと」を挙げました。「世界は自分だけじゃない」ことに気付かれたそうです。

さらに、戦後80年を経た日本の平和を、こんな言葉で表現しました。「戦争が終わった時の平和は、コンクリートのように分厚かったと思います。ただ、今は薄っ

ぺらの、障子の和紙のような、猫の足で破れるような平和になったように思います」北海道から四国まで旅し、古民家にも触れてきたニキタさん。「建物をコンクリートに変えても、本質は変わらない」と語り、最後にこう呼びかけました。

「日本ならではの、日本の本来の、『薄いけれど綺麗』。それを大事にしないと、綺麗であり続けられない。であれば、大事にしましょう」。戦争によって故郷を離れ、日本で4年間暮らしてきたニキタさんだからこそ見えた、日本の平和の姿なのかもしれません。

遠く離れた場所で起きていることと、私たちの日々の暮らしはつながっています。そして、今ここにある平和も、決して当たり前が続くものではありません。世界で起きていることに関心を持ち、歴史と今を知り、これからを考え続けること。この平和が次の戦争までの「ひと休み」ではなく、永く続くものとなるように――。ニキタさんが語った「薄いけれど綺麗」な平和を大切にするため、私たちに何ができるのかを改めて考えた時間となりました。

齊藤とも子／齊藤三郎(著)／ゆいぽおと／1,760円(税込)

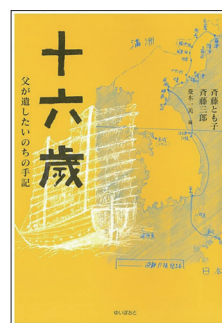
書籍
紹介

「十六歳-父が残したいのちの手記」 齊藤とも子 (俳優)

崔麻里さんとのご縁で、JIM-NET さんには、2015 年のチョコ募金キックオフイベントの司会を務めさせていただいてからお世話になっております。みなさんの地道な活動に胸うたれ、それ以来、毎年、チョコ缶が楽しみです。米・イスラエルのイラン攻撃で、再びイラクの人たちの生活が脅かされている状況のなかで、お知らせも憚られるのですが、この度、父の引き揚げの手記を出版しました。

父は 1945 年 8 月 10 日、16 歳で朝鮮北部の羅津から避難をはじめました。ソ連軍の侵攻を知らずに登校してしまったため、帰宅もできず、そのまま先生や学友たちと逃げるしかなかったのです。敗戦で個別避難を言い渡され、その後は学友数名と約 10 カ月かかって引き揚げました。

その間、何度も命の危険に晒されながら、朝鮮の人たちに助けられて、奇跡的に帰国できたのです。その体験を刻んだ胸ポケットの小さな手帳をもとに、すぐに手記を書き、その後も加筆清書を繰り返しました。飢えに苦しみ、盗みや物乞いをしたその方法まで 16 歳の筆致で記しています。父はこの手記を出版してほしいと言いついて、私が JIM-NET さんと繋がった 2015 年に他界しました。戦争が世界中に迫りつつある今、この手記を読んで、戦争が何をもたらすのか少しでも感じていただけたらと思います。



チョコ
募金

♡11月から受付スタート♡

今年は、イスラエルとアメリカによるイランへの軍事攻撃によるナフサショックなどの影響を受け、例年より早くからチョコ募金の準備を進めております。9月からチョコ缶に同封するカードの封入作業がすでに進行中です。

オンラインでイラクと日本をつなぎ、お絵描きワークショップを行い、子どもたちが可愛い絵をたくさん描いてくれました！



お申込みの受付は、
11月16日(月)からを予定しております。
今年も子どもたちの可愛い絵と美味しい六花亭のチョコレートをどうぞお楽しみに！

Coffee for
Peace!

♡第6弾～9月25日(金)から受付スタートです♡

2021 年から始まったドリップコーヒー「Coffee for Peace!」は、カルディコーヒーファームのご協力により 6 回目のご紹介となります。

今回のパッケージには、イラク南部の都市バスラ出身の2人の女の子たちと彼女たちをケアしていたスタッフ・サブリーンの絵が使われています。サブリーンは、10歳で小児がんを発症しました。病気がうつるからと友達や親せきから避けられるなどの辛い経験を乗り越え、がんサバイバーとして患者や患者家族に寄り添っていました。子どもたちもそんなサブリーンが大好きでしたが、2025年11月に病気が再発し、天国に旅立ちました。



Coffee for Peace! は、可愛いプチギフトとしても毎回ご好評をいただいています。絵を描いた子どもたちは、自分の作品が他の患者の助けになることをとても喜んでいました。子どもたちの絵と美味しいコーヒーをお楽しみいただければ幸いです。

夏募金
2026

123件 1,166,000円のご寄付を賜りました! (9月5日現在)

温かいご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃から一時中断を余儀なくされていた院内学級は、7月1日よりサマーコースとして無事に再開することができました。子どもたちは学び、参加し、一緒に時間を過ごすという機会を大切に感じているようです。

皆様からお寄せいただいた温かいご支援は、院内学級の運営や医薬品の提供、ご家族への宿泊・交通費支援などに大切に役立ててまいります。

引き続き、子どもたちの学ぶ喜びと安全な居場所を守るため、活動を見守っていただけますと幸いです。



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

郵便振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット
Facebook、Twitter、Instagramもぜひご覧ください。『JIM-NETで検索』

募金・サポーター会費はこちらへ→

